

寺報

No.707

令和8年7月

蓮華寺
發行

御聖訓

利根^{りこん}にてもあれ、鈍根^{どんこん}にてもあれ、持戒^{じかい}にてもあれ、破戒^{はかい}にてもあれ、貴くもあれ、賤くもあれ、一切^{いっさい}の菩薩^{ぼさつ}、凡夫^{ぼんぷ}、二乗^{にじよう}は法華經^{ほっけしんじようぶつしやう}にて成佛^{じようぶつ}すべし。『法華初心成佛鈔』



(解説)

日蓮大聖人は「たとえ賢い者でも、愚かな者でもまた戒律を守っている者でも、破っている者でも、また身分の高い者でも、低い者であつても、さらに総ての菩薩・一般大衆・そして仏の教えを聞き悟りを得た声聞と、自らの力で悟りを得た縁覚の二乗でさえも、皆法華經のお力で成仏得道するのです。」と教えられました。

しかし、法華經は有り難いと分かっている人であつても、それを信仰をしなかつたり、また信心に徹底出来ない人達にとつては、法華經はまさに「宝の持ちぐされ」であつて、なかなかそのご守護を戴けないもののなのです。

ですから、我々は日蓮大聖人の教えをよく守り、法華經を読み、お題目を唱え、そしてお守り（靈神符）を着体するという信仰をつらぬき通す事が大切なのです。

さらに、自分だけの為だけでなく、未信徒の人達にも導いていく事も忘れてはいけません。

鬼子母神大祭

七月四日(土)

午後六時半より

法話・青森県宗務所副長

つがる市 要心寺住職

加藤 知宏 上人

*『鬼子母神』様は「家内安全」「身体健全」「子孫繁栄」「安産成就」等を叶えます善神です。

*小さなお子さん、お孫さんをお持ちの方、また出産予定の方は必ずご祈願、ご参拝下さい。

②ご祈祷がありますので、どうか法要の開始時間に合せてご参拝下さい。

また、法要終了後の「法話」も必ずご聴聞下さい。お願い致します。



お知らせ

【一般御祈願】・・・千 円 (読み上げ・お札)

皆様の「家内安全・身体健全等」、また子供さんお孫さんの「発育増進・安産成就等」の御祈願、読み上げをします。

【特別御祈願】・・・二千円 (読み上げ・木札)

御祈願の仕方は一般と同じですが、長さ一尺(約三十センチ)の木のお札が付きます。

【一般御法楽】・・・千 円 (読み上げ・お札)

皆様のお名前を読み上げまして「鬼子母神様」をご法楽(法華経を以て神仏に楽しんで戴き、また自らも徳を積むという意味)します。

【特別御法楽】・・・二千円 (読み上げ・お札)

各家庭にお祀りしています「鬼子母神様」のご尊像と掛け軸を、大本堂の御寶前にお祀りし、僧侶全員にて読経・ご祈祷し、お名前も読み上げします。

どうぞご持参下さいますように、お願い致します。尚、当日お参りの出来ない方は、前以てお寺にお預かり下さい。

鬼子母神様にザクロ?

なぜ、鬼子母神様に果物のザクロの実をお供えするのでしょうか。

鬼子母神様は古代インドのお話に出て来ます鬼女で、名をカーリテイといいます。手当たり次第に人の子を奪っては食べてしまう為に、当時の人々にとってはとても恐ろしい存在でした。

これを知ったお釈迦様は、このカーリテイをこらしめる為と人々を助ける為に、ひそかにカーリテイの末の子を隠してしまいました。

すると、自分の子がいなくなったカーリテイは大いに苦しみ、ついには愛児の行方を尋ねてお釈迦様のもとに助けを求めに來たのでした。

「お願いですお釈迦様、どうか私の子がいる所がお分かりならば教えてくれませんか。」と頼みました。

お釈迦様は「お前のような者でも子供はかわいいと見えるな。お前は沢山の子供を持ちながら、その内の一人の子を失ったと悲しんでいるのに、お前に大切な子供の命を奪われた人々の気持ちはどのようなものであろう。もしその気持ちが分かるのであれば、今後、人

の子を食べるのはやめなさい。そうしたら、お前の子供の居場所を教えてやろう。」

さすがのカーリテイも、「これからは決して人の子を奪って食べたりはしません。」と誓いました。

お釈迦様は続けて「よく私のいう事を聞いてくれた。親が子を思うという気持ちが分かったのなら、今日限り恐ろしい鬼の心を捨てなさい。そして今後は正しい法(法華経)を信ずる人、また罪のない子供を守る者となりなさい。」といい、子供を返しました。

更に、「これは、昔より人とよく似た味がするといわれているザクロという果物である。これからはお前はこの果実を食べるようにしなさい。」とザクロを渡されました。

こうして、鬼子母神様には子供を守ってもらう代わりにザクロをお供物として捧げるようになったといわれています。

しかし、ザクロは昔より、中に実がいっぱい詰まっているところから、子宝や五穀の豊饒を意味する『吉祥果』といわれていました。

ですから、たくさんの子供に恵まれた、鬼子母神様にふさわしい果物だったのでしょう。

檀信徒研修会のお知らせ

☆七月二十五日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂(イス席です)

持参品…聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

蓮華寺

大切なお題目受持

新たに蓮華寺の檀家を希望する方へ!

新しく『廣布山蓮華寺』の檀家になりたいと希望する方は、特別の手続きなどはありませんので、入檀の誓約書を書いて戴き事務所までお申し込み下さい。いつでも登録出来ます。

その際に献金はなく、当山を維持運営します護持会費年額六千円(月五百円)を納めて戴きます。

また他宗から改宗する場合も、同様ですのでご安心下さい。

日蓮宗に改宗する場合は、必ず戒名を変えて戴きますが、その際も普通戒名は無料で授けています。

しかし、それ以上にご希望がある場合は、お寺にご相談下さい。

ただし、ご本尊(大曼荼羅)^{だいまんだら}・日蓮大聖人のご尊像・過去帳・仏具などの必需品は、各家で実費でそろえて戴きます。

現代は信教の自由が保障されていますので、ご自分の意志で信仰したい宗派を決める事が大事でしょう。

盛運祈願会へお参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り(俱生靈神符)を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、是非とも盛運祈願会に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きまして御本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・俱生靈神様に

『一ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。』

と、御礼する事が大切なのです。

更に、我々が知らず知らずの間に作つて来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、俱生靈神のご守護をより強くする事も忘れてはいけません。

また、我々の身体はご先祖様より受け継がれたものです。

ですから、皆様ご自身の懺悔滅罪だけではなく、先祖の懺悔滅罪そして成仏を願う事も大事な事です。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」のお勤め中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用しています。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

事務所までお申込み下さい。【随時受付中】

『靈神符』を持ちましょう!

最近はある思いもよらない事故や災害が多発したり、特に子供さん達が巻き込まれる悲惨な事件も増えてきています。

檀信徒の皆様も「私だけは絶対大丈夫」などという考えはお止めになりまして、どうか素直に毎月の靈神符(お守り)を肌身離さずお持ちになり

ますようお願い致します。



来月

八月

お盆の棚経のお願い

毎年蓮華寺では、お盆の供養の為に棚経を八月の十四日(金)より十六日(日)まで『旧市内』、十七日(月)より二十日(木)までは、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家さんを回っております。一週間で回れる軒数は、僧侶の人数の関係から限られてしまいます。

特に最近では、市内の環境や道路事情により新市内の檀家が増え、十七日以降の棚経のご依頼が多くなってきています。

しかし、十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行なう状況から、あまり多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日(土)から回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申し込みの上、日時を決めて戴くようお願い致します。

なお、例年通りの日時でよろしい方は、そのままお伺い致します。

お盆『墓経』のお願い

例年、八月十三日(木)に三内霊園でお盆の墓経を行っていますが、今年は僧侶が五人しか確保出来ませんでしたので、『午前六時から午後二時三十分まで』行う事になりました。

檀信徒の皆様も、どうかお時間をご確認の上、三内霊園の詰所(蓮華寺のテント)までお申込み下さい。どうぞ、よろしくお願い致します。

『靈断』のおすすめ!

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千元です】

ご首題(ご朱印)

当山では、季節ごとに新たなデザインの『ご首題』を用意していますので、どうか、ご利用下さい。

『位牌壇』を持ちましょう

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に旅行などで不在の時や、ご高齢で家庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方には、上位で空いている『位牌壇』を無料でお譲りしています。(注)管理費は変わります)

ですから【三席】から【特席】にも上がれます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来て助かります。

◎詳細は事務所まで!

水子さんのご供養

今年もご供養の為に、当山境内地の『水子観音様』に【風車】を上げて下さい。
一体七百元で、葉の部分に供養の言葉や名前が書けます。

『提灯』の募集!

当山で「御会式」「お正月」「鬼子母神大祭」の際に掲揚します『提灯』(トローロ)を募集致します。
作成価格は八千円で、年間の管理費が二千元となりますので、初年度のみ一万円となります。

お知らせ

★『日蓮宗 朝夕のおつとめ』

(お経の解説付)

一、二〇〇円

★『声に出して読みたい』

日蓮大聖人のお言葉

御一代記(解説付)

一、二〇〇円

※残りわずかとなりました。

七月の行事

一 日(水) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お守りを戴きましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 蓮華寺檀信徒は必ずお守りを持ちましょう。



四 日(土)

鬼子母神大祭

午後六時半より

十二日(日) 鬼子母神小祭

朝のお勤め中

十三日(月) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・ お経 (如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み))
- ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 日蓮大聖人へのご報恩を忘れず参拝しましょう。

二十五日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

二 日(木) 『鬼子母神大祭』の準備

- ・ 教宣部男女 午前九時より

四 日(土) 『鬼子母神大祭』のお手伝い

- ・ 教宣部男女 午後三時より

五 日(日) 『鬼子母神大祭』の後片付け

- ・ 教宣部男女 午前十時より

※ 『鬼子母神大祭』は大行事ですので、準備、後片付け等が大変です。

※ 部員の方は必ず、また部員以外の方でも是非ともご奉仕をよろしくお願い致します。

(注) 時間までご集合下さい。

教宣部長・杉淵昌三

『十三日のお勤め』

に参拝しましょう

毎月午後一時より